

製品・サービス動向-国内

■アイ・ティ・エックス：Web 会議サービス
「MORA Video Conference」の新バージョン、ハード型テレビ会議システムとの連携など

(5月23日)

アイ・ティ・エックス株式会社 (<http://www.itx-corp.co.jp/>) (東京都港区) は、同社の Web 会議サービス「MORA Video Conference」(モーラビデオカンファレンス) の新バージョン (Ver13.0: ASP モデル、Ver13.0i: サーバ導入モデル) を販売開始する。

新バージョンでは、以下の点が新機能および改良点という。

(1) ハード型テレビ会議端末との連携が可能：対応機種 (一部) については、近日中に同社 Web サイトにて公開するとしている。

(2) 「帯域制御機能」の改良：ネットワーク環境に応じて実行される機能で、これまでよりも多くのシーンでスムーズな映像の表示が可能になった。「ステータスバー」から現在のネットワークの状況が一目でわかるようになっている。

(3) 「自動巡回機能」の追加：多人数モード会議室において、参加者の映像を順番に表示するもの。この機能により、参加者数が多い会議や研修でも簡単に参加者全員の様子を把握することが可能になる。ASP 版ではオプション機能となっている。

(4) 「プレゼンス機能の改良」：プレゼンス機能で Web 会議を開催する際に、サウンドで通知を受けることが可能になった。加えて、メッセージ受信と Web 会議開催時のサウンドの繰り返し再生にも対応する。

ASP 版ではオプション機能となっている。

(5) 招待機能の改良：AdminTool から招待機能が利用できるようになった。ASP 版ではオプション機能となっている。

Mora Video Conference は、ネットワーク環境とブラウザさえあれば利用可能な Web 会議サービス。初期投資を抑えて手軽に運用開始できる、初期費用 78,000 円/ID (税別、以下同)、月額 3,000 円/ID 定額制の「ASP モデル」と、多彩なカスタマイズが可能な「サーバ導入モデル」の 2 パターンを提供している。

マニュアルいらずの簡単操作が特長で、資料共有、ホワイトボードなど Web 会議に欠かせない充実した機能もアイコンをクリックするだけで使えるという。CD 並みの高音質な音声で、最大 20 人 (拠点) / 会議室 (拡張可能)、TCP443/80 ポート利用で、セキュリティポリシーはそのままで対応することが可能。

■BroadSoft 社：日本市場で BroadCloud サービスの提供開始

(5月26日)

グローバルユニファイドコミュニケーション SaaS (UcaaS) プロバイダーの BroadSoft 社 (<http://www.broadsoft.com/>) (米国・メリーランド州) は、BroadCloud サービスを日本で立ち上げ、日本での本格的な操業を開始する。

高機能クラウドコミュニケーションサービスプロバイダ PBXL 株式会社 (<http://www.pbxl.co.jp/>) (東京都新宿区、BroadSoft 社が 2015 年 11 月に買収し、BroadSoft 社の日本法人となる。) を通して、日本のサー

ビスプロバイダ向けのフルマネージドサービスである BroadCloud サービスを提供する。

このサービスを利用するサービスプロバイダ各社は、このプラットフォーム上で BroadSoft 社の総合的なユニファイドコミュニケーションサービス「UC-One」を顧客に提供することができる。

メリットとしては、VoIP および UC サービスの新規導入にかかる莫大な資本投資も不要となる。また、サービスプロバイダは管理の手間とコストを最大限に削減したクラウド PBX および UC サービスを顧客に提供する点も挙げられる。

BroadSoft 社としては、BroadCloud Japan を正式発足させ、日本市場にて BroadSoft 社のサービス提供を開始することができたことになる。このサービス開始の皮切りとなったのは、日本の大手サービスプロバイダであるニフティ株式会社との提携。ニフティは、BroadCloud プラットフォームを利用して、法人向け通話サービス「ShaMo! (シャモ!）」を 3 月に発表している。iPhone/Android 端末で固定電話番号を利用できるサービス。

ビジネス動向-国内

■パイオニア VC: タブレット端末を用いた学習環境の安全性向上のため「xSync」に「iFILTER ブラウザー & クラウド」を採用

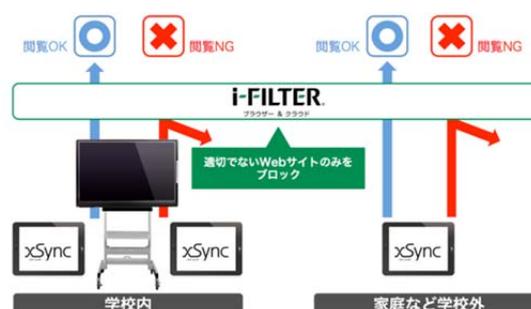
(5月17日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) グループのパイオニア VC 株式会社 (<http://pioneer.vcube.com/>) (東京都品川区) は、遠隔教育や協働学習を実現する「xSync(バイシンク)」(協創を支援する教育用プラットフォームの総称) を利用した学習環境を向上させるため、6月より、Web フィルタリング機能を追加する。

その Web フィルタリング機能には、デジタルアーツ株式会社 (<http://www.daj.jp/>) が法人向けクラウド

サービスとして提供している「i-FILTER ブラウザー & クラウド」を採用。

これにより、xSync を利用している学習環境からインターネットに接続しようとする、自動的に Web フィルタリングが働くことになる。教師や保護者は、タブレット端末を教室から持ち出すたびに特別な操作をする必要がなく、児童・生徒にとって安全な学習環境を実現する。



i-FILTER の仕組み (パイオニア VC)

xSync は、電子黒板やタブレット端末を用いた協働学習を実現するソリューションとして、文部科学省の実証事業での採用が増え、全国の多くの学校に導入されている。教室での ICT 環境が整った学校からは、タブレット端末の学習利用を学校外でも進めたいが、通信環境が学校外になるため、児童や生徒が教育上好ましくない Web サイトの閲覧を防止する仕組みを準備してほしいと安全対策への要望があった。

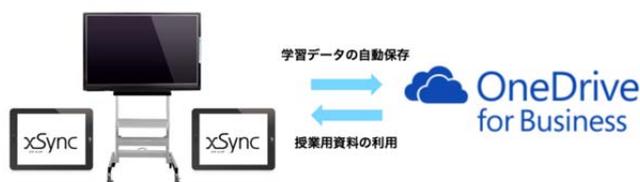
パイオニア VC は、「全ての学校で協働学習」をコンセプトに今後も学校現場で使いやすい教育 ICT サービスの拡充に努めるとしている。

■パイオニア VC: 日本マイクロソフトの Office365 「OneDrive for Business」と「xSync」の連携サービスを提供開始

(5月17日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) グループのパイオニア VC 株式会社 (<http://pioneer.vcube.com/>) (東京都品川区) は、協

働学習を実現する「xSync(バイ シンク)と日本マイクロソフト株式会社 (<https://www.microsoft.com/ja-jp/>) (東京都港区) が提供する Office 365 のクラウドストレージ「OneDrive for Business」との連携サービスを6月から提供開始する。



xSync と OneDrive for Business の連携 (パイオニア VC)

これにより、教師は普段利用している「Office365」のアカウントで、OneDrive for Business への自動保存ができるようになる。

これまで授業前後で教室内の xSync で実施していた授業用資料存や学習データの移行が不要となり、授業用資料の更新や学習データの再利用がいつでもどこでも可能になる。教師の手間を軽減するとともに、児童・生徒への学習データの配布が簡便になることから、授業中の学習データを利用した持ち帰り学習等にも取り組みやすくなる。

今後は、グループ会社アイスタディ株式会社 (<http://www.istudy.ne.jp/>) (東京都品川区) が提供する学習管理システム「iStudy LMS アカデミックエディション」と xSync の連携も進め、OneDrive for Business に保存されている学習データを用いた児童・生徒それぞれの学習記録を容易に管理できる仕組みなど、持ち帰り学習にも対応した環境整備を進めていくとしている。

ビジネス動向-海外

■Arkadin 社：最高技術責任者を任命

Arkadin 社 (アルカディン、フランス・パリ) は、Jean-Pierre Dacher 氏を最高技術責任者 (CTO) に任

命したことを発表した。(5月18日)

Arkadin 社は、NTT コミュニケーションズのグループ企業で、世界最大級かつ急成長中のユニファイドコミュニケーションおよびコラボレーションサービスプロバイダ。Dacher 氏は、アルカディンのワールドワイド事業において製品・開発・運用の責任者として、Arkadin 社 CEO Didier Jaubert 氏の直属となる。また、執行委員も務める。パリ本社を拠点とする。

Dacher 氏は、ヒューレットパカード、SAP、Business Objects などでエンジニアリング企画、プロダクトやプロジェクトなどをマネージメントしてきた30年の国際経験があり、直近では、Murex の COO を務めた。

Arkadin 社は、グローバル UC&C プロバイダーからデジタルワークプレイス大手へと変革の途上だ。そういった中、高い業績を上げるチーム育成、優れたソフトウェア製品のロールアウト、卓越した価値提案といった面で Dacher 氏は同社にとって大きな資産となると期待する。

Arkadin 社は、大企業から中小企業まで、あらゆる規模の 42,000 社を、世界 19 言語に完全対応し、33 か国 56 拠点でサポートする。日本法人は、アルカディンジャパン株式会社 (<https://www.arkadin.co.jp/>) (東京都港区)。

■Yealink 社と VideoCentric 社：英国中小企業向けのテレビ会議ソリューション提供で戦略的パートナーシップ締結

(5月10日)

Yealink 社 (<http://www.yealink.com/>) (中国・廈門市) と VideoCentric 社 (<http://www.video-centric.co.uk/>) (英・バークシャー) が、オールインワンのシンプルなテレビ会議システムをイギリスの中小企業向けに提供することで戦略的なパートナーシップを締結した。

Yealink 社は、会議室向けテレビ会議システムからデ

スクトップのテレビ電話まで製品を提供しており、一方、VideoContric社は、テレビ会議システム専門のインテグレーター。

パートナーシップにより、Yealink社のフルHD対応、コンテンツ共有、デュアルスクリーン、通話レコーディングなどの機能が標準で搭載されたテレビ会議システムと、VideoCentric社が提供するクラウドサービス「VC365」(ISO27001対応データセンタ)を組み合わせて、イギリスのユーザに提案していく予定だ。また、VideoCentric社による長期的なユーザサポートや関連のサービスも提供している。

VC365は、多地点機能、ISDN接続、グローバルPSTN電話、ダイヤルインオプション、マイクロソフト「Skype for Business」との連携、WebRTC対応、「Skype Video」ダイヤルイン、「Youtube」レコーディングなどの機能のほか、利用統計レポート、管理レポートのROIのためのツールも提供している。

■Highfive社とDolby Laboratories社：テレビ会議システムの音声品質向上で協力

(5月9日)

Highfive社(<https://highfive.com/>) (米国・カリフォルニア州) と Dolby Laboratories社 (<http://www.dolby.com/>) (米国・カリフォルニア州) の両社は、テレビ会議システムの音声品質向上で協力する。

Highfive社が提供するテレビ会議システムに、Dolby社の「Dolby Voice」を組み込み、従来よりもさらに明瞭ではっきりとした音声を提供することになる。2014年からHighfive社のテレビ会議システムを利用しているEvernote社は、今回の新機能を試した一社のひとつ。Dolby Voiceによって、テレビ会議によるミーティングはさらに生産性が高く、楽しみさえ感じると高く評価する。

Highfive社は、General Catalyst社、Lightspeed Venture Partners社、Andreessen Horowitz社、Google

Ventures社などから資金供給を受けているベンチャー企業。2014年の販売開始以来、Mineo社、Evernote社、Warby Parker社などすでに1,400社以上の顧客を獲得している。本社は、カリフォルニア州レッドウッド市。

導入利用動向-国内

■パイオニアVC：富山県砺波市の小中学校、文部科学省の実証事業で「xSync」を採用、遠隔協働学習を実現

(5月16日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) グループのパイオニアVC株式会社 (<http://pioneer.vcube.com/>) (東京都品川区) は、富山県砺波市内 (<http://www.city.tonami.toyama.jp/>) の6つの小中学校を相互接続し、電子黒板とタブレット端末を活用した遠隔協働学習を実現する仕組みとして、ビジュアルコラボレーションサービス「xSync(バイシンク)」を提供したと発表。

富山県砺波市は、文部科学省が推進する「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上にかかる実証事業」の参画自治体。人口過小地域の小規模校における教育の質の維持向上を目指すとともに、児童・生徒が切磋琢磨しながら学び合い、思考力やコミュニケーション能力の育成につながる教育環境の構築に取り組んでいる。

また、複数校を接続して「協働学習」「合同学習」が実現できる環境を構築することで、先生同士による指導方法の日常的な共有とスキル向上を目指している。

そういった中、電子黒板やタブレット端末、Web会議システムを組み合わせ、遠隔にある複数の学校同士の普通教室を接続し、日常的に遠隔協働学習が実現できる環境を構築した。

富山県砺波市は、先生にとっても、児童・生徒にとってもわかりやすい簡単な操作性や複数校を接続しても

スムーズな授業を実現できる安定性などで採用を決めたという。

導入利用動向-海外

■ブイキューブ：学研メディカル秀潤社のインドネシアにおける新規教育事業のインフラに「V-CUBE」を提供

(5月19日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、株式会社学研メディカル秀潤社 (<http://gakken-mesh.co.jp/>) (東京都品川区) がインドネシアで開始した同国の医師・歯科医師を対象としたeラーニング事業の映像コミュニケーションインフラとして、「V-CUBE」を提供したと発表。

V-CUBEによって、医師・歯科医師免許が5年ごとの更新制であるインドネシアにおいて、免許更新に必要な研修受講ポイントの約半分をオンライン教育で獲得できる仕組みを支えているという。

学研メディカル秀潤社(東京都品川区)では、インドネシア南スラウェシ州医師会・歯科医師会、ハサマディン大学医学部・歯学部と協力し、医師・歯科医師向けの生涯教育事業を行う現地法人を設立し、eラーニング事業に取り組んでいる。

インドネシアにおいて、医師免許更新に必要なポイントを獲得するための研修の開催が都市に集中しており、地方の医師にとっては移動時間・移動コストが負担となっていることに着目し、研修をオンライン化することで医師の負担軽減を図り、同国の医師不足や医療環境の向上への貢献を目指していた。

その中で、インドネシアでの新規オンライン教育事業のインフラとして、インドネシア語で安定利用が可能なビジュアルコミュニケーションで、カスタマイズ開発や現地語サポートに対応できるサービスを求めている。

採用された理由としては、オンライン教育事業にお

ける実績、インドネシア語で安定して利用できるサービスである、日本・インドネシアでの開発・サポート体制など高く評価した。

ブイキューブは、教育分野におけるビジュアルコミュニケーション活用を成長戦略の柱のひとつとして掲げ、国内外で積極的な取り組みを進めている。今回の学研メディカル秀潤社のインドネシアでの教育事業における採用は、アジアに進出する事業者での好例と考えているという。

Report

※CNAレポート・ジャパン橋本啓介による検証レポート

■ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する

<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（前編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（後編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

■<新着>パイオニア VC：“ものづくり”の現場を支える、遠隔コラボレーションシステム「xSync Prime Collaboration」取材レポート

<https://blog.vcube.com/xsync-prime-collaboration.html>

PR

(広告掲載順)

■株式会社日立ハイテクソリューションズ
(テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社ブイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■V-CUBE Box を体験してみませんか？

日時：2月～6月 ※詳細日程は下記 URL。

会場：東京、名古屋、大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

https://jp.vcube.com/event/seminar/V-CUBE_BOX_2016.html

■SPIRENT Communications Japan

ディベロッパーツール関連セミナー開催のご案内

日時：6月1日（水）13:00-17:30（受付：12:30～）

会場：アットビジネスセンター東京駅（東京都中央区）

主催：SPIRENT Communications Japan 株式会社

詳細・申込：<http://go.spirent.com/Japan-DT-Seminar.html>

■Office365/Skype for Business セミナー

日時：6月3日（金）10:00～12:30(受付開始 9:30～)

会場：日本マイクロソフト株式会社関西支店(大阪市福島区)

主催：日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：

<http://www.synnex-promo.jp/microsoft/news/articles/000161.html>

■ビデオ会議 新技術セミナー2016

～Office365 時代のビデオ会議運用、課題と解決～

日時：6月3日（金）13:30～16:30（開場：13:00）

会場：ベルサール八重洲（東京都中央区）

主催：メディアプラス株式会社

詳細・申込：<http://www.mediaplus.co.jp/news/2016/0513/index.html>

■安定した映像・音声品質で、iPad でも快適！

Web 会議システム「IC3」事例と活用セミナー

日時：6月9日（木）15:30～17:30（受付開始 15:00）

会場：キヤノン IT ソリューションズ本社（東京都品川区）

主催：キヤノン IT ソリューションズ株式会社

詳細・申込：https://jp.vcube.com/event/seminar/20160509_1300.html

■ケイパビリティを高める鍵はコラボレーションだ！

～無数の障壁を取り払う次世代コミュニケーション～

日時：6月9日(木) 14:00～17:30 (13:30 受付開始)

会場：JR 品川イーストビル 20F（東京都港区）

主催：株式会社日立ソリューションズ

協賛：丸紅情報システムズ株式会社

詳細・申込：

<http://www.hitachi-solutions.co.jp/forum/tokyo/vol87/>

※Vidyo に関する講演もあります。

■「Sler・リセラー必見！売れる WEB 会議の選び方・提案法教えます」

日時：(札幌) 6月14日(火) 14:00～16:00

(福岡) 6月15日(水) 14:00～16:00

会場：(札幌) TKP 札幌ビジネスセンター（中央区）

(福岡) TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前（博多区）

主催：エイネット株式会社

詳細・申込：

<http://www.freshvoice.net/news/2016/05/web-61415.php>

※ヤマハの講演もあります。

■【札幌開催!!】失敗しない「Web会議」、「テレビ会議」の
選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーション
ツールの選び方についてデモを交えてご紹介～

日時：6月16日（木）

会場：第1回：13:30～15:00（受付：13:00～）

第2回：16:00～17:30（受付：15:30～）

※各回ともに同じ内容です。

会場：株式会社三好商会 2F Kozy Hall（札幌市中央区）

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：https://jp.vcube.com/event/seminar/20160524_1500.html

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー

～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめる
ワークスタイル変革～

日時：6月29日(水) 10:00～17:00（受付：9:30～）

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.rioh.co.jp/event/seminar/16K083.html>

<海外>

■Infocomm 2016

日時：6月4日から10日午前・午後

会場：Las Vegas Convention Center

主催：Infocomm International

詳細・申込：<http://www.infocommshow.org/>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年5月31日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp